

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	御坊市立野口小学校	宇和正徳
学校所在地		
〒 644 - 0031 御坊市野口761 Tel 0738 (22) 0437 Fax 0738 (24) 3973 e-mail noguti-s@muse.ocn.ne.jp		
担当者名		役職名・担当教科
地阪 智子		5年生担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、御坊市の中央を流れる日高川の川沿いにあり、周囲は田園に囲まれ、昔から続く農村地帯である。近年は、祖父母が農業、保護者が勤め人という家庭が多くなっている。平成8年より湯浅御坊・高速道路が開通し交通の便がよくなり、年中野菜や花卉を作るなど、農業の多角経営が進んでいる。生活状態も都市化傾向にあり、子供達は、戸外で友達と遊ぶことが少なくなり、塾や習い事に費やされる時間が増えている。学校に在籍の児童は素直で優しい子が多く、指示されればできるものの主体的に物事を考え行動するのは、苦手な子が多い。</p> <p>学校では、異学年の交流を進め、高学年が低学年の面倒を見るなど、子ども同士で学びあう機会を設け、主体性をはぐくむ活動を重視している。また教科指導の中でも、子ども達一人ひとりの学ぶ意欲を、高める研究をすすめている。主体的に学ぼうとする力を向上させ、「生きる力」を育むことをめざしている。今回の取組もそれを高めることを目指し、参加を希望した。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5 年生 20 名	3 名 職員 2 名	和歌山県世界遺産センター
実践研究テーマ		
身近な世界遺産を学ぶことで、世界に目を向ける態度を養う。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習・国語科・社会科	「私たちの未来に向けて」	
〔キーワード〕 世界遺産・地域学習・情報発信能力		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産についての知識を深める。 ・熊野古道を見学し、その場で実体験・学習することで、「紀伊山地の霊場と参詣道」のすばらしさを感じる。 ・学習したことをまとめ、より分かりやすく伝える。 ・野口に伝わる熊野古道について、調べる。 		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 20 時間（「私たちの未来に向けて」 20 時間）		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌山県世界遺産センター・・・次世代育成事業 ・和歌山県世界遺産マスター ・熊野本宮大社・・・次世代育成事業 		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・世界遺産について学習する。	・世界遺産とは何か学習する。 ・和歌山県にある世界遺産について、P Cで調べ学習をする。	発言・ノート
2	・世界に誇れる日本の技術について知る。	・国語科「千年の釘にいどむ」を読み、世界に誇れる日本の技術について知る。 また、「法隆寺を作った職人の思い」について考える。	国語「千年の釘にいどむ」の感想
3	・「紀伊山地の霊場と参詣道」について学習する。	・「紀伊山地の霊場と参詣道」について学習することで、自分たちの校区にも熊野古道があることを知る。	発言
4	・世界遺産入門プログラムを受ける。 ・熊野古道を歩く。	・世界遺産についての知識を深める。 ・歴史を感じながら、熊野古道を歩くことで、「紀伊山地の霊場と参詣道」についての関心を深める。	行動観察
5	・学習してきたことを、まとめ発表する。	・参観日に保護者に向けて、世界遺産について学習してきたことを、発表する。	ノート・ポートフォリオ
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>(成果) ・実際に昔から続く石畳を歩いたり森の中を歩いたりすることで、昔の人が感じていたことを知る事ができた。</p> <p>・国語の本にある「千年の釘」のような、日本人が大切にしてきたことを、守り続けていく大切さを、学んだ。</p> <p>・和歌山県の地図から、県を取り巻く周りの地理的な様子や昔の人の願いを知る事ができた。</p> <p>(課題) ・野口にある熊野古道と岩内王子について調べてみたが、新しい道路ができ、また水害があったりして、確かなところが分からなかった。詳しい人に問い合わせしているので、引き続き、調べてみたいと考えている。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>・実際に歩くことで、世界遺産を大切にしていかなければならないことを知った。</p> <p>・和歌山県にある世界遺産を学ぶことで、世界にある世界遺産に目を向けることができた。また、そのすばらしさも知った。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>・日高地方（地元）にある熊野古道について、もう少し確かな資料が、必要だと思った。熊野古道は県内に網羅されているはずなので、歴史の勉強と絡めて、授業になるはずである。でも実際に訪ねてみようとしたときに、水害などで移転もしくは消えてしまっている所があると聞いた。たぶん他の地域でも、よく似たようなことは、あるのではないかと思う。地域の古老に聞くなどして、もう少し知識を持っておきたい。そうすることで、身近な教材として、小学生の世界遺産学習に生かせると思う。</p>			



熊野古道を歩いて」

S N

今日は熊野古道にいきました。いきなり、鳥居のでかさにおどろきました。熊野川は大きいし、世界センターも大きいし、びっくりすることだらけでした。

センターでは、世界遺産について色々教えてもらいました。

その後、マスターの人にであつて、山を登ると、昔の茶屋がありました。進んで行くと、石の階段がありました。かっこ良かったです。

1.5km位進むと広い石段があつて、木の階段もありました。昔の人は、階段を作るのが上手だなあと思いました。山の上から見たけしきは、とてもきれいでした。

最後におまいりをしました。今度は、家族と来たいです。疲れたけど、楽しかったです。



熊野古道」

N Y

三軒茶屋を見たとき、お茶屋さんがこんな山の中にあるの？と思いました。でも、マスターがわかりやすく説明してくれたので、昔は、人が多く通っていたことが、わかりました。

「こへち」 なかへち」 おおへち」と分かれていて、三軒茶屋は二つの道の分かれ道にたっています。遠くから歩いて来た人にお茶をサービスしてたと言うことでした。

また、江戸時代に作られた石段や昭和時代に作られた石段があつて、その時の技術の様子が分かりました。どれも、道を守るために、考えられた方法でした。

今も残っているのは、すごいと思いました。



社会見学に行つて」

MO

熊野古道は、昔の人が石や土を積み上げて作った大切な道なんだと思いました。とても急な坂やでこぼこの道があつたけど、森の中はとても気持ちよかったです。

熊野古道の途中にちよつと寄り道という、立てふだがあつて、登ってみたら、とても景色が良く、いいところでした。

熊野古道は、和歌山県と奈良県と三重県にまたがる広い世界遺産だと聞いて、びっくりしました。歩いて、すごく疲れました。



熊野古道に行つて」

SO

ぼくは、熊野古道を歩いて思ったことがあります。ごみがおちてないなあ。」と景色がきれいだなあ。」です。

世界遺産は、ごみを捨ててはいけないし、みんなで守って行かなければなりません。

あと、木の根っこがごつこつ出でて、歩くと足がいたくなりました。そんな道が2,5キロメートルも続いています。熊野古道は、すごく大きな世界遺産だと思います。

